

令和7年度国保事業費納付金の算定結果(概要)

○納付金総額 535 億円 (前年▲3億円)

○被保険者1人当たりの納付金額 171,760 円 (前年+1,983円、+1.2%)

【1人当たり納付金の主な増要因】

・高額医療費負担金(歳入)の減	1人当たり	▲ 2,717 円
・保険給付費等交付金(歳出)の増	1人当たり	7,994 円
・後期高齢者支援金(歳出)の増	1人当たり	562 円

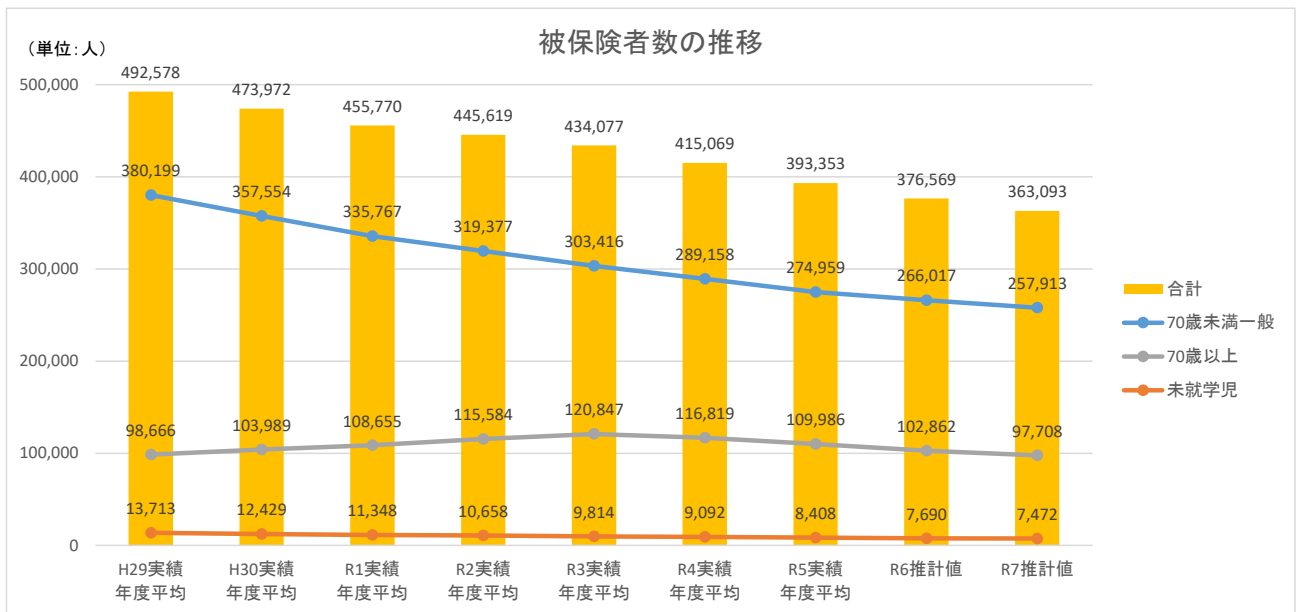
【1人当たり納付金の主な減要因】

・介護納付金(歳出)の減	1人当たり	▲ 2,319 円
--------------	-------	-----------

【被保険者数】

被保険者数の合計は、減少傾向で推移。

70歳以上の被保険者については、団塊の世代が後期高齢者医療制度に移行したことから、令和4年度以降、減少に転じている。



【診療費推計】

診療費総額は、被保険者数の減少に伴い、減少傾向で推移。

1人当たり診療費は、医療の高度化に伴い、増加傾向で推移。

